

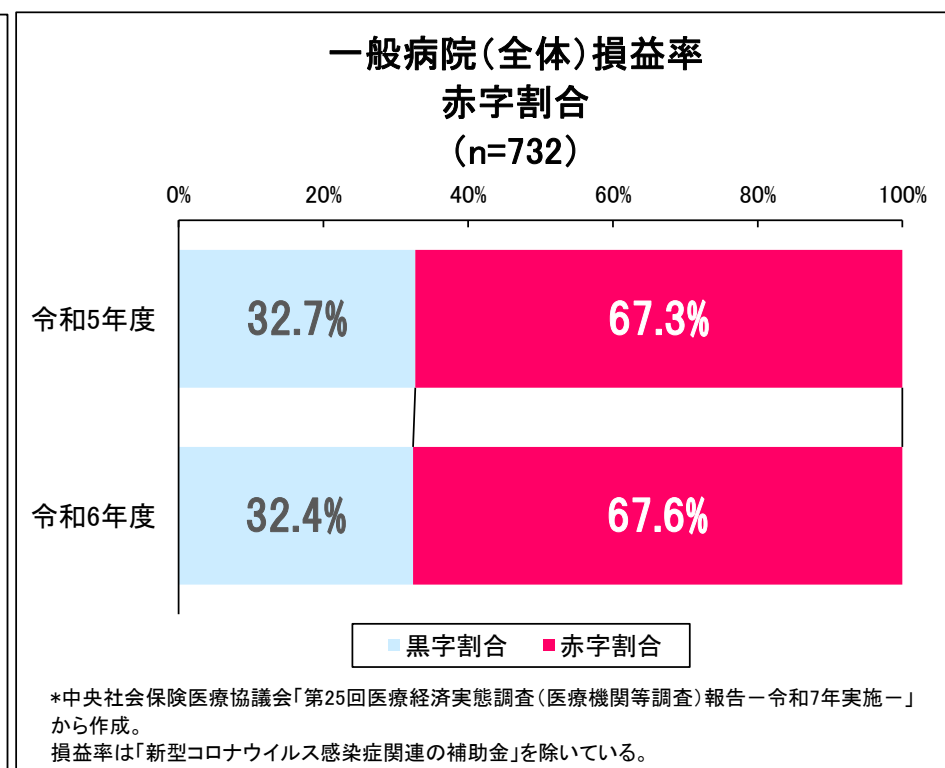
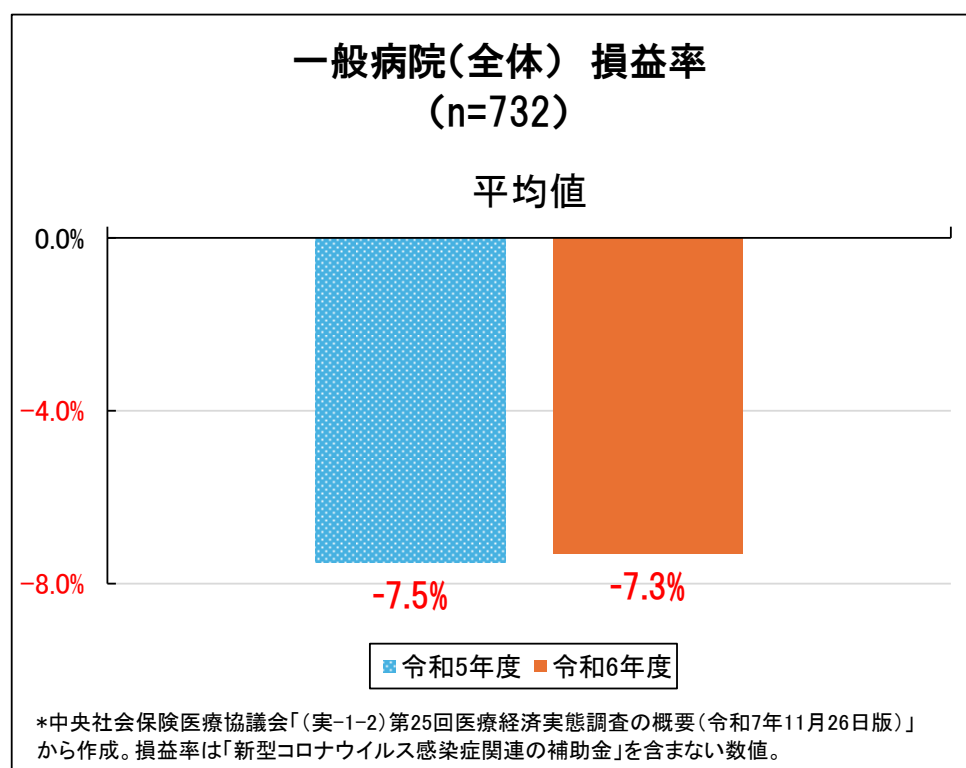
「第25回医療経済実態調査報告－令和7年度実施－」 について

定例記者会見

令和7年12月3日
公益社団法人 日本医師会

一般病院(全体) 損益率

- 令和6年度の一般病院(全体)の損益率は▲7.3%、赤字施設の割合は前年度と同じ約7割にのぼり、厳しい経営状況である。

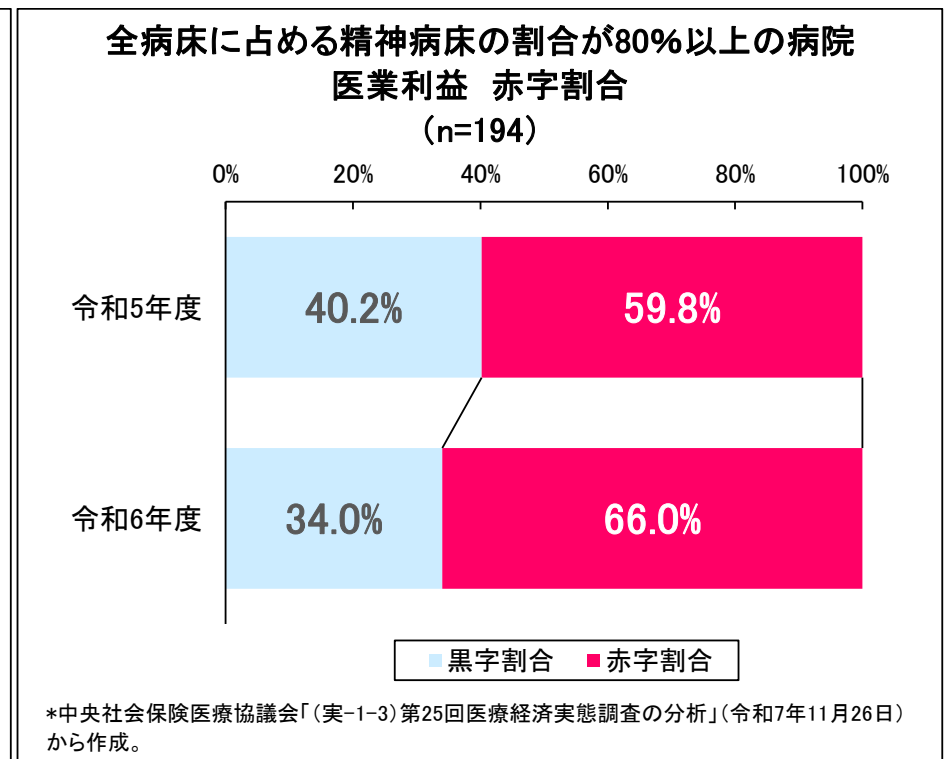
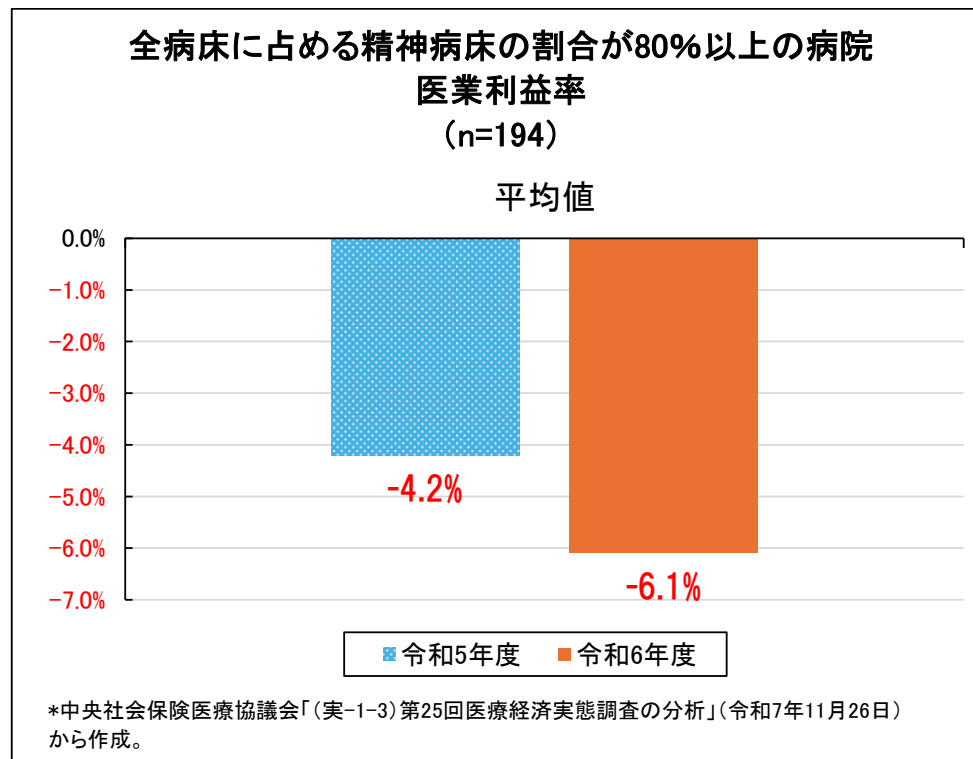


一般病院：特定機能病院、歯科大学病院、子ども病院、精神科病院(許可病床のすべてが精神病床であるもの)を除いた病院。

精神科病院 医業利益率と赤字割合

(全病床に占める精神病床の割合が80%以上の病院)

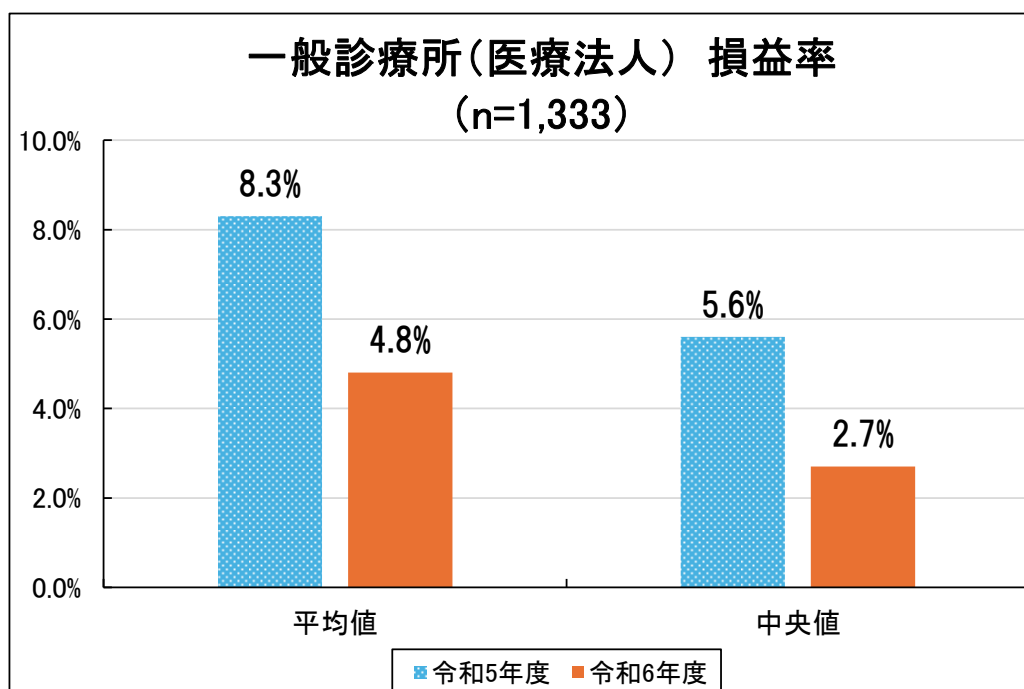
- 全病床に占める精神病床の割合が80%以上の病院では、マイナスの医業利益率がさらに悪化し、令和6年度の赤字割合が約7割となった。



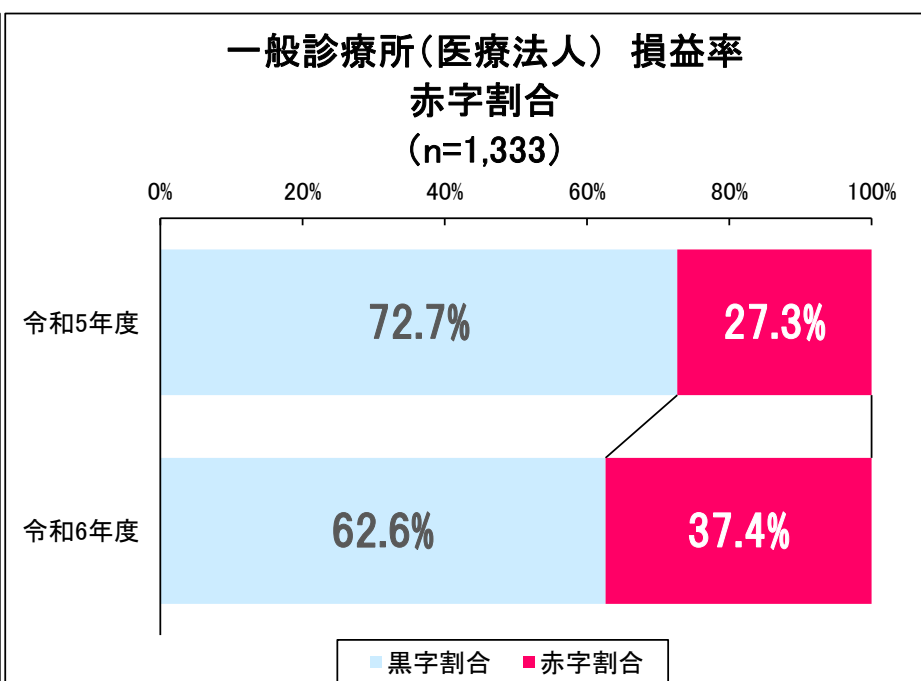
■ 医業利益率 = (医業・介護収益 - 医業・介護費用) ÷ (医業・介護収益) であり、「損益率」に相当する。

一般診療所(医療法人) 損益率

- 令和6年度の一般診療所(医療法人)の損益率は対前年で大幅に悪化した。
- 損益率の中央値は平均値よりも大幅に下回っており、令和6年度は2.7%であった。
- 令和6年度の赤字施設の割合は、約4割にのぼった。



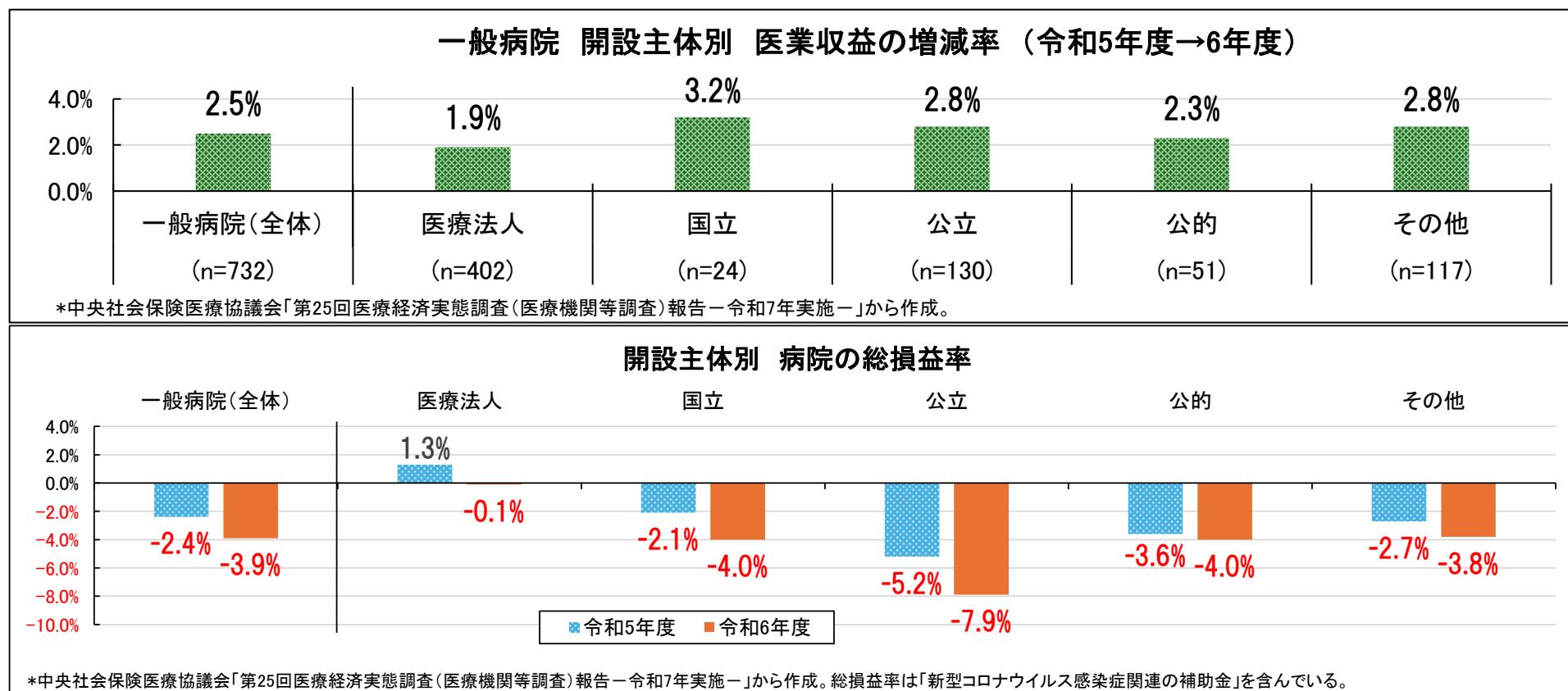
*中央社会保険医療協議会「(実-1-2)第25回医療経済実態調査の概要(令和7年11月26日版)」から作成。
損益率は「新型コロナウイルス感染症関連の補助金」を含まない数値。



*中央社会保険医療協議会「第25回医療経済実態調査(医療機関等調査)報告-令和7年実施-」から作成。
損益率は「新型コロナウイルス感染症関連の補助金」を除いている。

一般病院 開設主体別 医業収益と総損益率

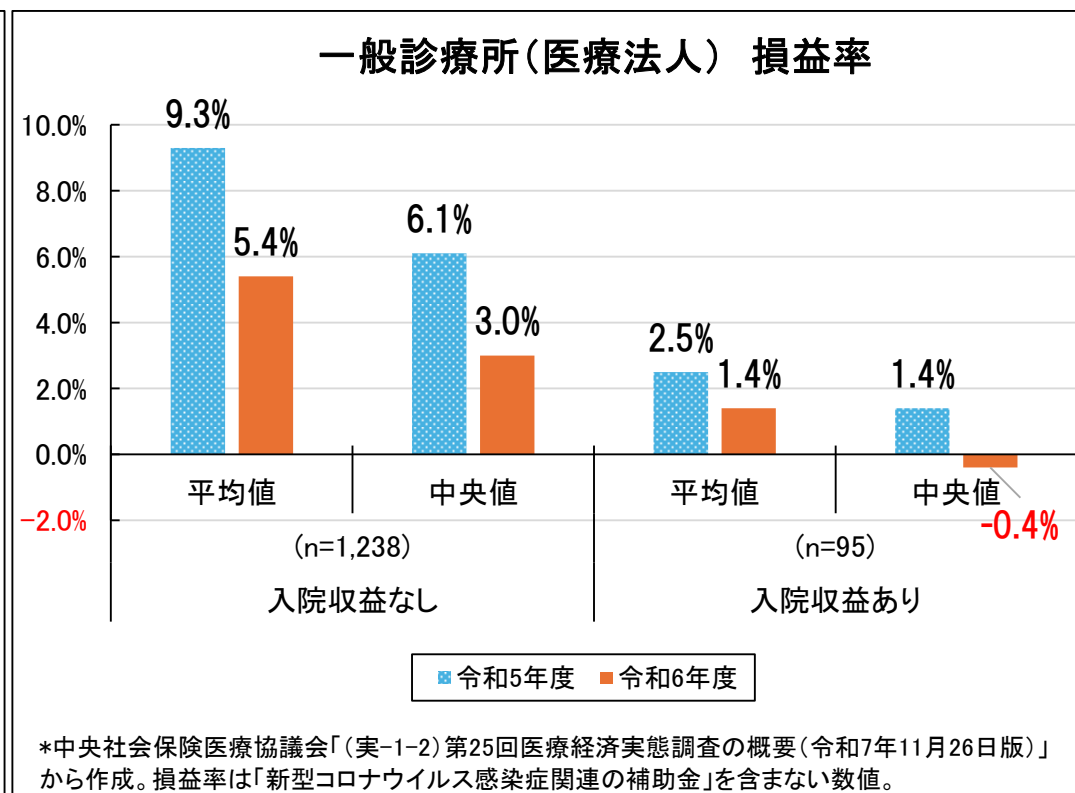
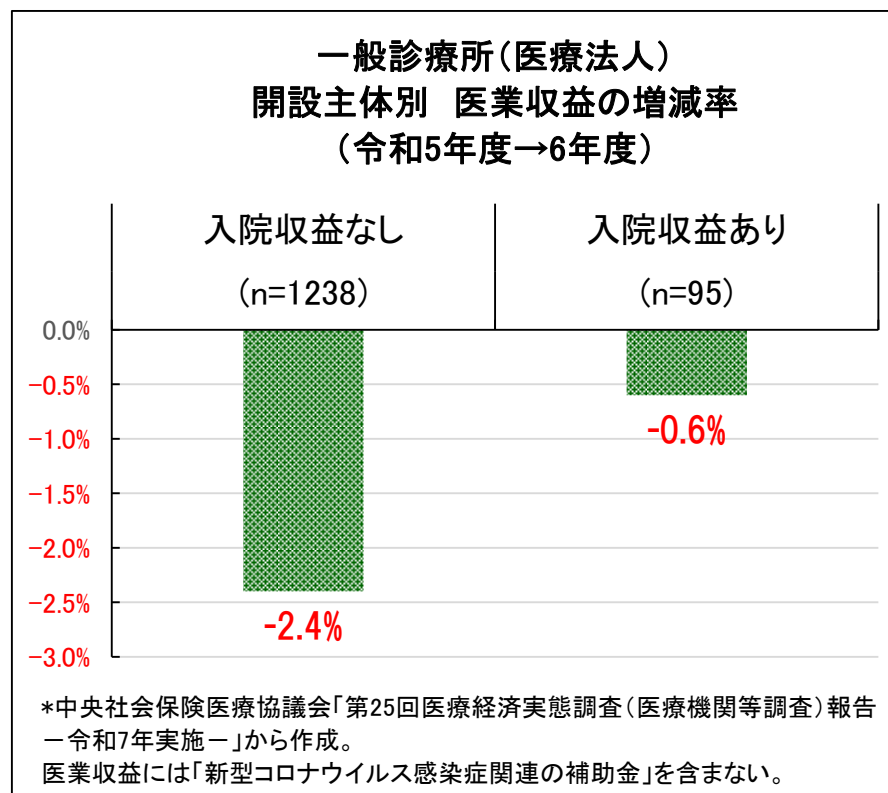
- 一般病院は、いずれの開設主体も医業収益は増加したが、総損益率は悪化し、増収減益である。
- 総損益率が悪化した要因は、賃金・物価の上昇によるコスト増のほか、新型コロナ関連の補助金や特例の終了による影響が大きい。



※社会保険関係法人立と個人立の病院は施設数が少ないため、非表示としている。

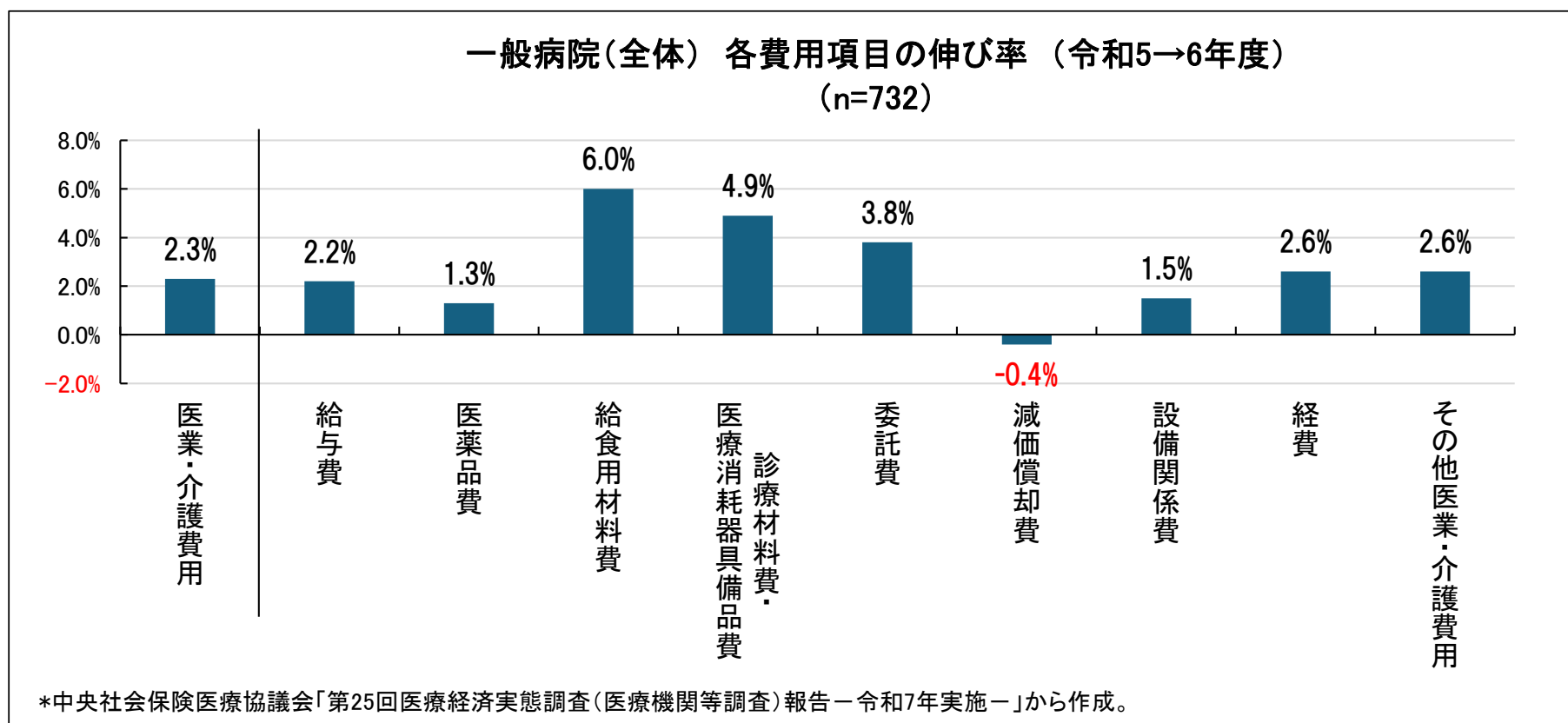
一般診療所(医療法人) 医業収益と損益率

- 一般診療所(医療法人)では、「入院収益なし」「あり」とともに医業収益は減少した。損益率は平均値、中央値ともに令和5年度から大幅に悪化し、減収減益となった。



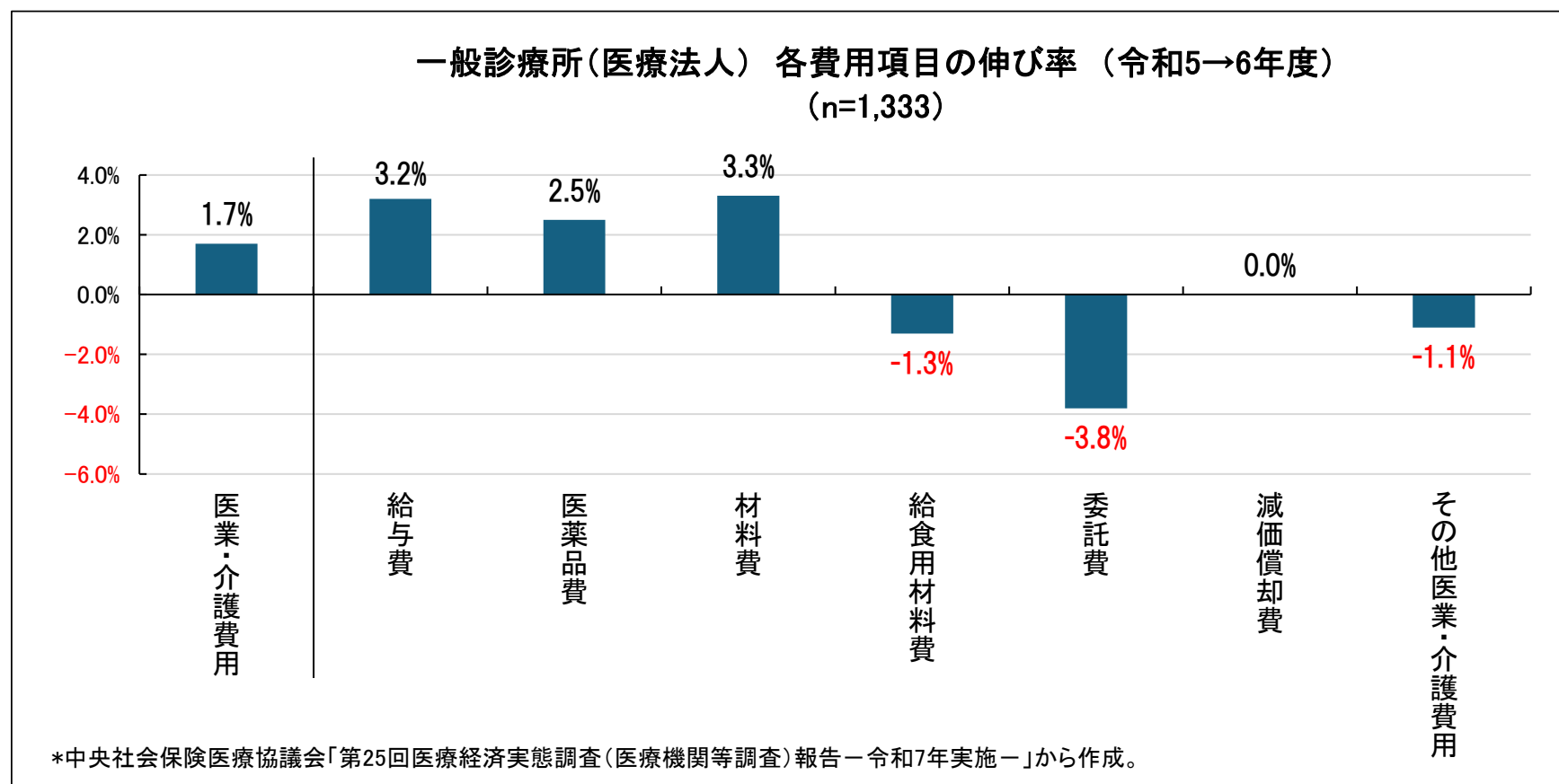
一般病院(全体) 各費用項目の伸び率

- 医業・介護費用は、物価・人件費等の高騰の影響を受け、給与費や材料費等の諸費用が上昇した。
- 一般病院では給食用材料費、診療材料費・医療消耗器具備品費、委託費の伸び率が高い。



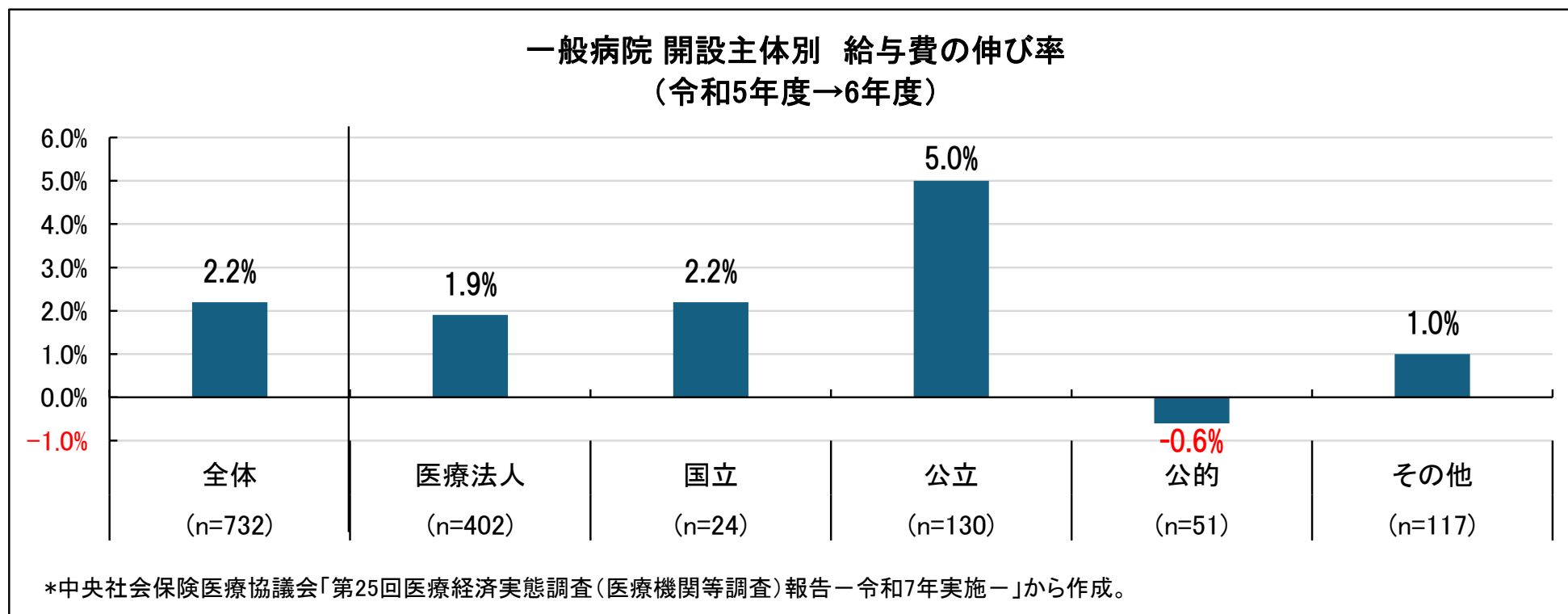
一般診療所(医療法人) 各費用項目の伸び率

- 一般診療所(医療法人)では材料費、給与費、医薬品費の伸び率が高い。
- 物価高騰が続く中で費用を抑え続けることには限界がある。



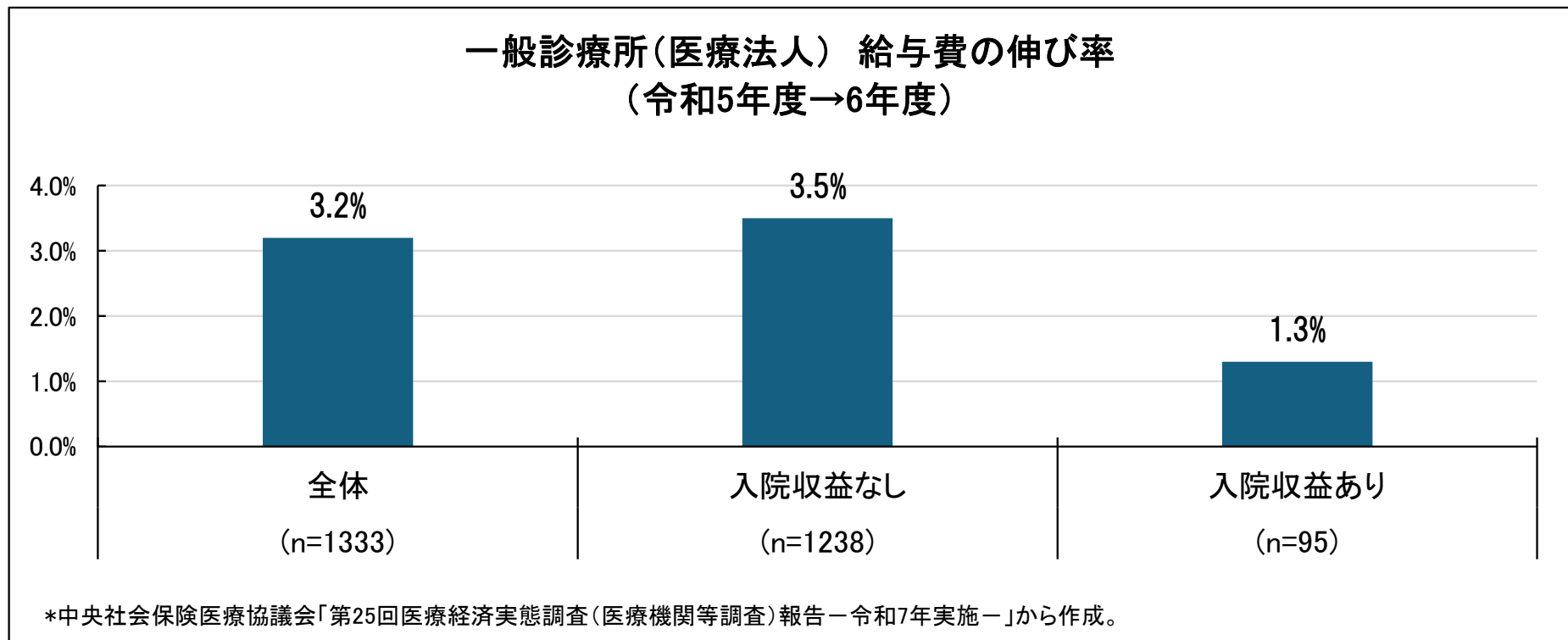
一般病院 開設主体別 給与費の伸び率

- 給与費の伸びは公立病院を除くすべての開設主体で、他産業の賃上げを大きく下回った。



一般診療所(医療法人) 給与費の伸び率

- 一般診療所の給与費は全体で3.2%増加し、うち入院収益なしの診療所では3.5%増加したが、他産業の賃上げには追いついていない。

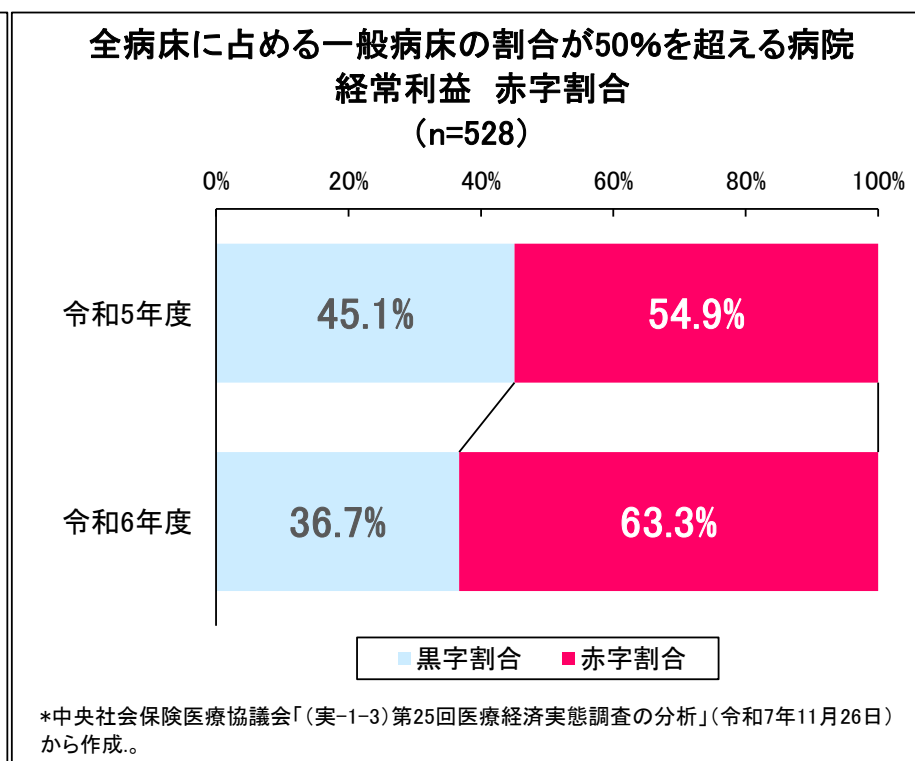
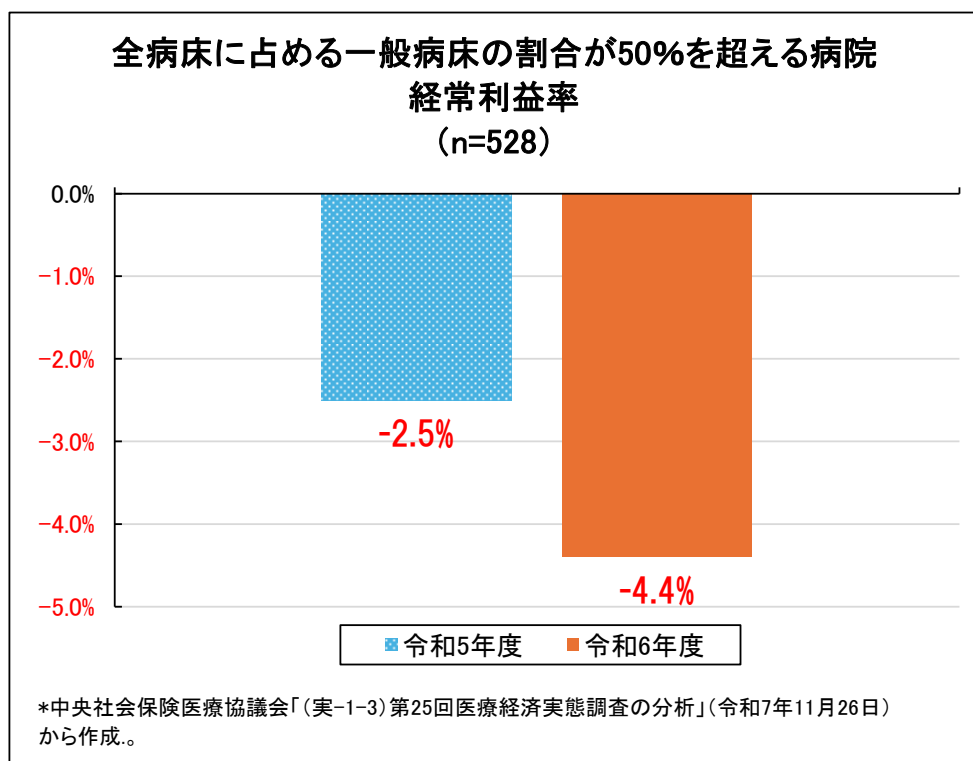


医療機関機能別損益等の状況

一般病院(全体) 経常利益率と赤字割合

(全病床に占める一般病床の割合が50%を超える病院)

- 全病床に占める一般病床の割合が50%を超える病院では、
経常利益率のマイナスが拡大し、令和6年度は6割強の病院が赤字である。

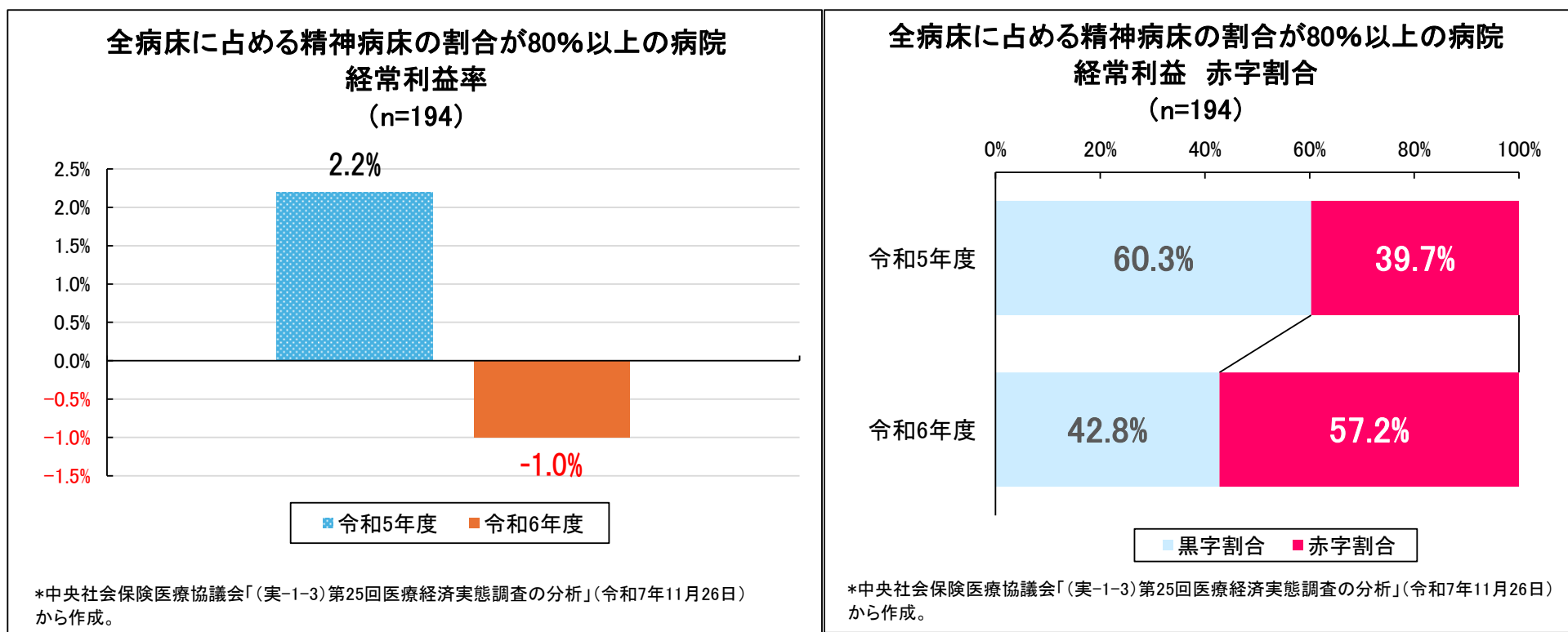


- 経常利益率 = (医業・介護収益 + その他の収益 - 医業・介護費用 - その他の費用) ÷ (医業・介護収益)
その他の収益・その他の費用は特別利益・特別損失(固定資産売却損益など)を含まない

精神科病院 経常利益率と赤字割合

(全病床に占める精神病床の割合が80%以上の病院)

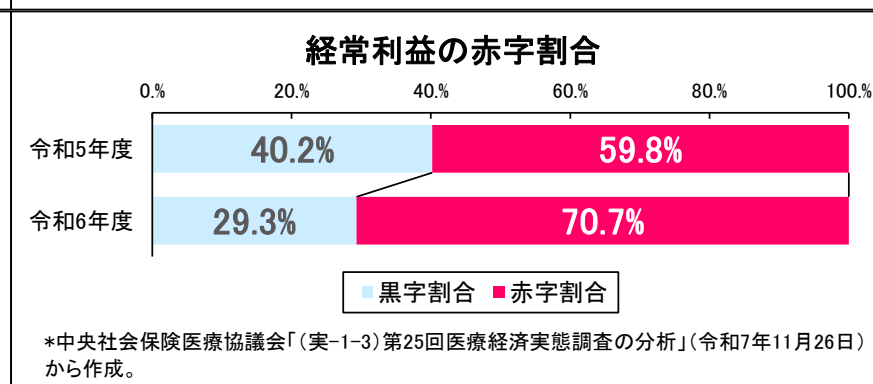
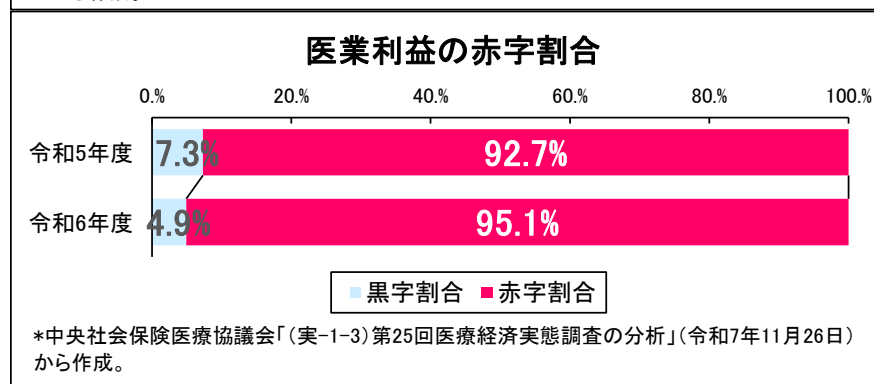
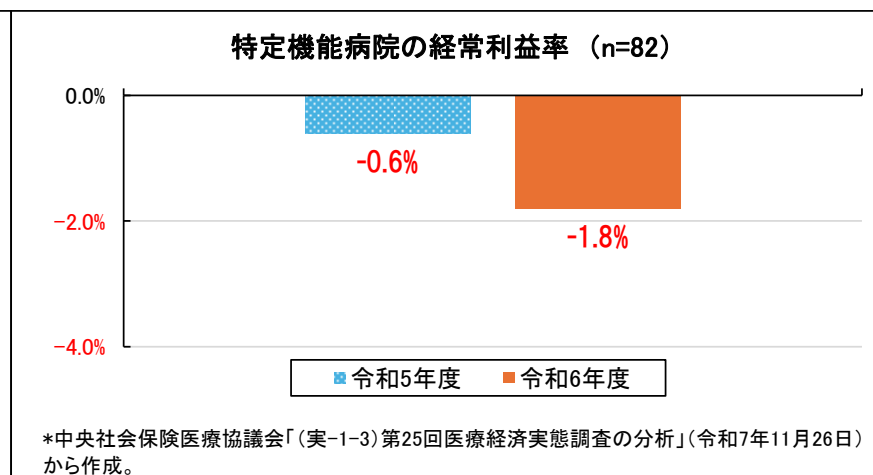
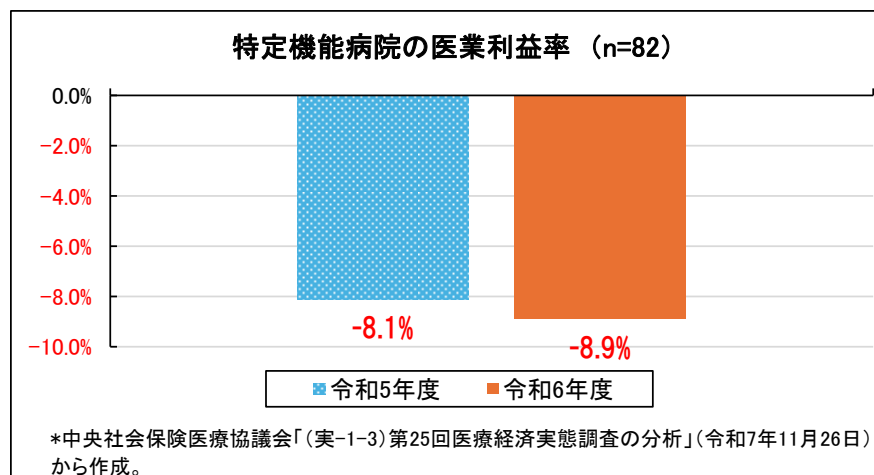
- 全病床に占める精神病床の割合が80%以上の病院では、令和6年度に経常利益率がマイナスに転じ、約6割の病院が赤字である。



- 経常利益率 = (医業・介護収益 + その他の収益 - 医業・介護費用 - その他の費用) ÷ (医業・介護収益)
その他の収益・その他の費用は特別利益・特別損失(固定資産売却損益など)を含まない

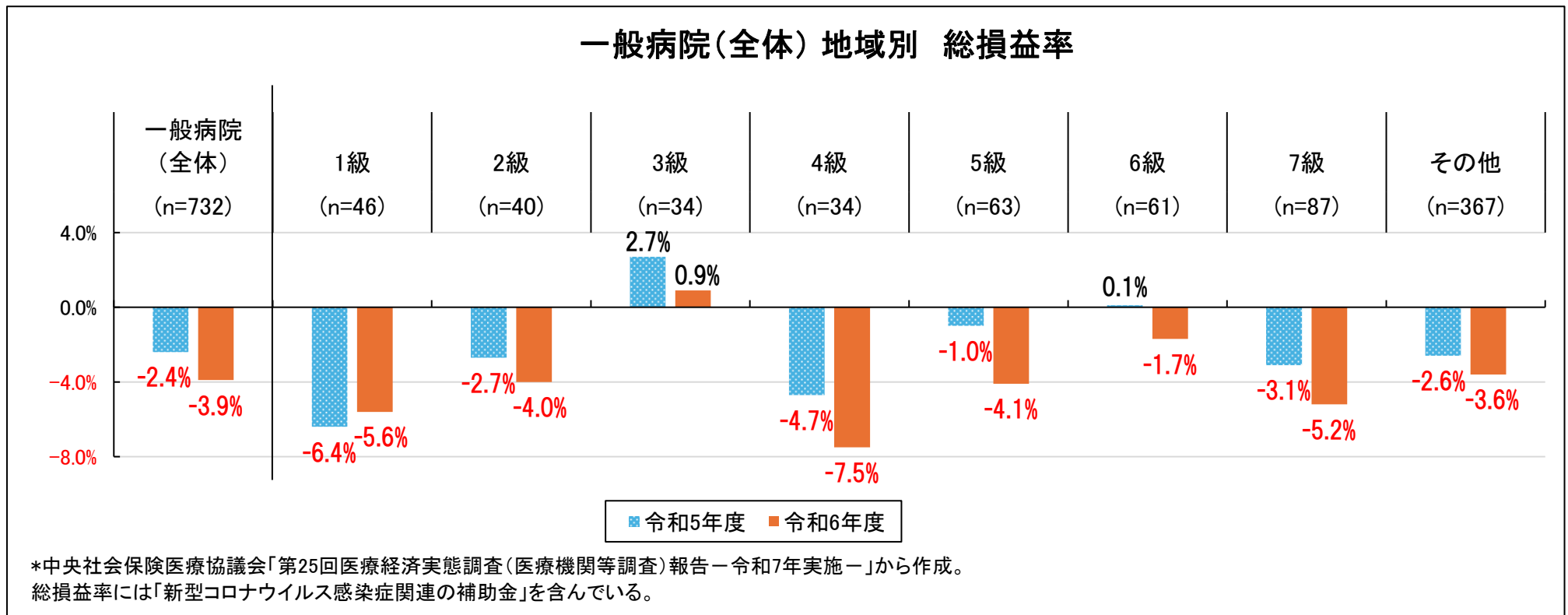
特定機能病院 医業利益率・経常利益率

- 特定機能病院の令和6年度の医業利益率と経常利益率は、ともに前年度よりも悪化し、医業利益は95.1%が赤字、経常利益は70.7%が赤字となった。
- 特定機能病院の大半は大学病院だが、運営費交付金の交付を受けても赤字であり、大学病院における教育・研究に大きな影響が出ることが危惧される。



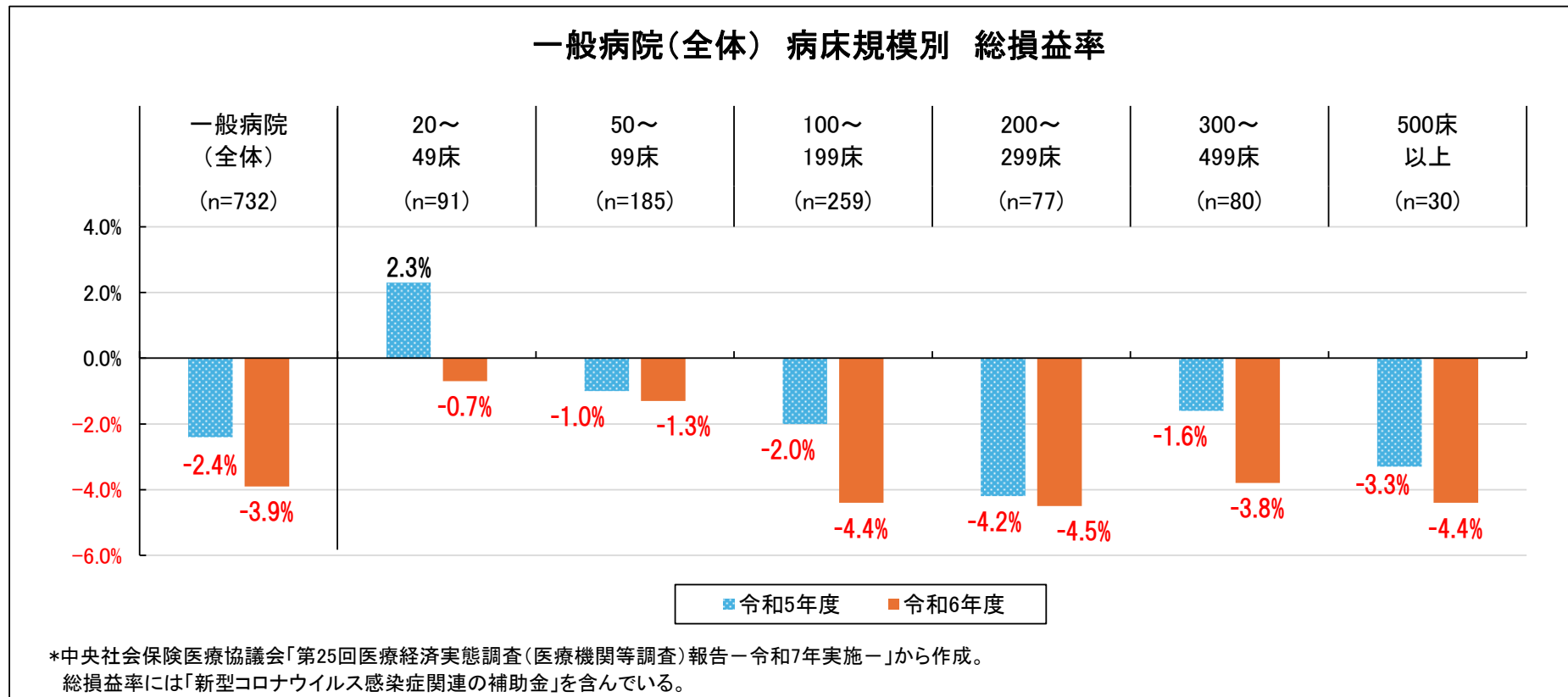
一般病院 地域別 総損益率

- 一般病院ではほぼすべての地域で総損益率が悪化した。



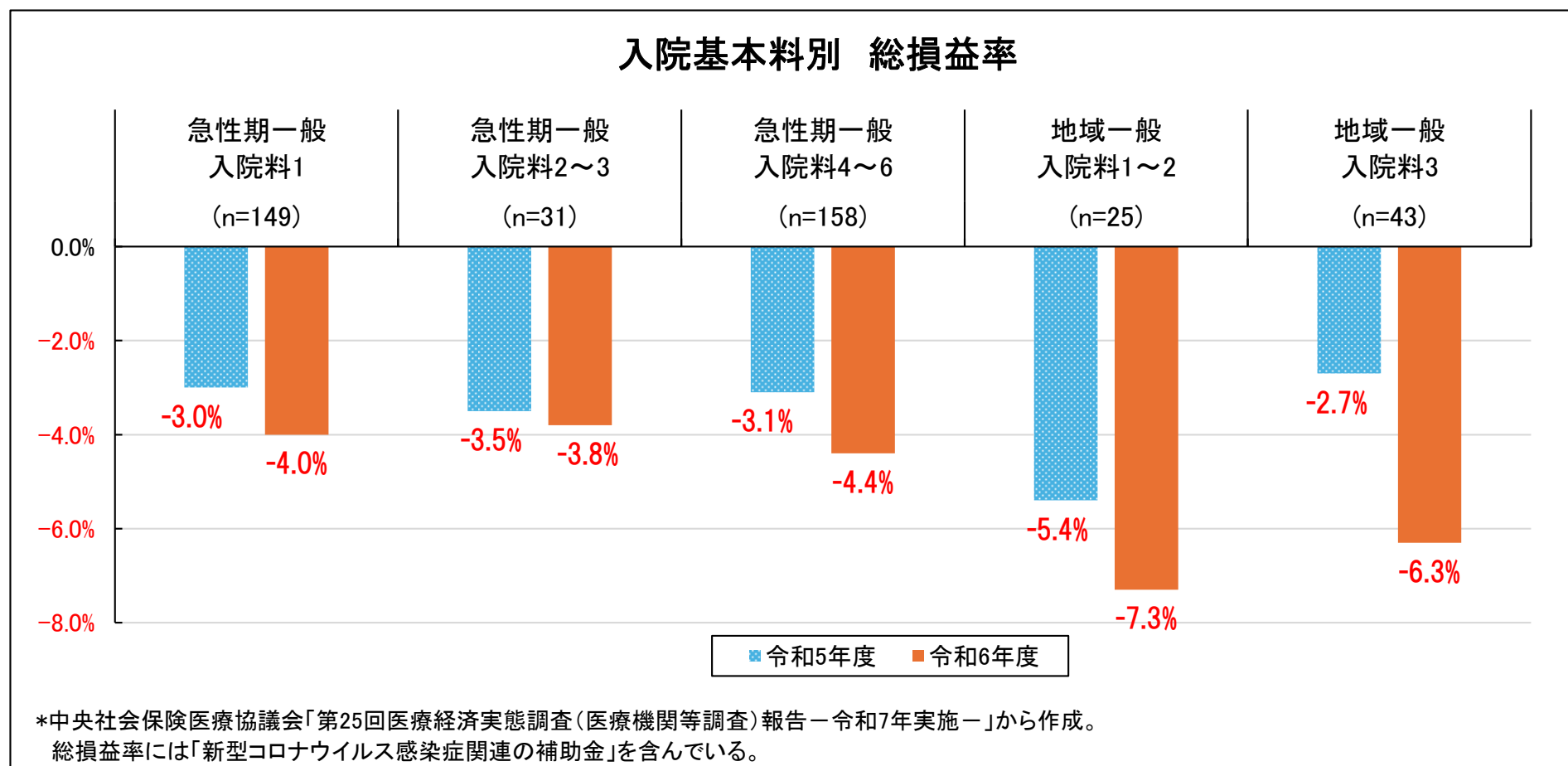
一般病院 病床規模別 総損益率

- 一般病院ではすべての病床規模で総損益率が悪化した。



一般病院 入院基本料別 総損益率

- 急性期一般入院料、地域一般入院料のいずれを算定している医療機関でも赤字がさらに拡大した。



一般病院と一般診療所 損益率(3月決算の医療法人)

- 令和7年3月決算の医療法人では、令和6年度全体(すべての決算月)に比べて損益率が低い傾向。
- 特に減収減益傾向にある診療所では、その傾向が強く、物価上昇が今も進む中、令和7年度はさらに経営が悪化し、赤字の施設が増加する可能性が高い。

一般病院 損益率(令和6年度)

全体(すべての決算月)

	平均値	中央値
医療法人(n=402)	-1.0%	-0.9%

3月決算のみ

	平均値	中央値
医療法人(n=308)	-1.2%	-0.9%

一般診療所 損益率(令和6年度)

全体(すべての決算月)

(医療法人)

	平均値	中央値
無床診療所 (n=1,238)	5.4%	3.0%
有床診療所 (n=95)	1.4%	-0.4%

3月決算のみ

(医療法人)

	平均値	中央値
無床診療所 (n=252)	4.9%	2.2%
有床診療所 (n=21)	-1.4%	-2.1%

※損益率は「新型コロナウイルス感染症関連の補助金」を含まない数値。

定義

- 損益率＝(医業・介護収益－医業・介護費用)÷(医業・介護収益)
※「新型コロナウイルス感染症関連の補助金」を含まない。
- 総損益率＝(医業・介護収益＋その他の医業・介護関連収益－医業・介護費用－その他の医業・介護関連費用)
÷(医業・介護収益)
※「新型コロナウイルス感染症関連の補助金」を含む。
- 分析にあたって、病院は集計1、診療所は集計2のデータを使用。